

ベナン共和国 アボメ・カラヴィ郡 ゴロ・ジベ行政区
ゴロ・ジベ公立小学校グループ C のための
3 教室を擁する 1 棟の校舎と
3 教室、事務室、倉庫およびトイレを擁する 2 棟の校舎の建設に関する
作業報告書その 1
(2025 年 2 月 24 日から 2025 年 5 月 31 日)

2 月 24 日、ようやく手頃な価格でセメントを見つけることができました。建物の工事が始められることに、皆安堵しました。



まず教室の内部に漆喰を塗り、黒板を設置し、その後外壁を張ります。



手すりの設置が進んでいます。



次に床をセメントで固めます。



その後、階段や建物の基礎壁、防護壁に漆喰を塗ります。



ベランダの床に
コンクリートが
打たれます

ついに棟が完成です



漆喰が完全に乾燥した後、ペンキ職人が現場に到着し、壁を磨きます。



まずは下地を塗ります。



ここから、建物は日に日にカラフルになっていきます。



2 棟目の建物にも
色が付きました。



最後にロゴを描きます。



完成です！！



新しい校舎を見ると胸が高鳴ります。7月3日に予定されている開校式までは日にちがありますが、試験を控えたクラスの生徒たちはすでに新しい教室を試しています。この学校の校長先生3名が私たちの事務室を訪れ、古い校舎の屋根が雨漏りしているので、新しい教室で試験を行いたいと希望しました。雨期ということもあり、校長先生がたの心配を十分に理解し、鍵をお渡ししました。試験の結果が特に良いものになることを願っています！

建物の検査は6月23日に行われ、その後、子どもたちが休暇に入る前に開校式の準備が始まります。

資金面でのご支援のみならず、温かいお心寄せを通じて私たちを励まし、寄り添ってくださったすべての支援者の皆様に感謝いたします。”Fly and Help”協会、ドイツのフォーゲルスベルグ地区の友人たち、ドイツ連邦経済協力開発省（BMZ）の職員、西アフリカ教育普及協会（Bildungswerk Westafrika e.V.）のメンバー、そしてベナンの全スタッフに心より御礼申し上げます。

私たち2つの協会のモットーは「より多くのことを共に成し遂げよう！」です。新しい校舎は、その確かな証です。

ベナンのパートナー協会「Actions de Solidarité」は、このモットーにさらに言葉を加え、こう表現してくれました。

“Ensemble pour mieux agir! – Ensemble pour toujours!”

「より良い行動を共に！ いつまでも共に！」

この言葉にある想いと同じく、今後とも皆様と歩みを共にできれば、これ以上の喜びはありません。

心からの敬意を込めて

當田アストリット